

## 地震対策オペレーション2025に参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・田代裕久1等陸佐）は1月17日（金）、静岡県庁（静岡市）等で行われた地震対策オペレーション2025に参加した。

訓練は、和歌山県南方沖でマグニチュード9.1の地震が発生し、県内でも最大震度7を観測、発災後24時間が経過した想定で行われた。

静岡地本は連絡員として静岡県庁と県内4力所にある各方面本部へ隊員を派遣し、県や各市町、関係機関との広域的な災害応急対策活動を円滑に実施するため、情報集約・共有、部隊の活動調整、必要な要請に係る手順について確認した。

訓練には静岡地本や県内に所在する部隊のほか、陸自第12旅団司令部（群馬県）、海自横須賀地方総監部（神奈川県）、空自中部航空方面隊司令部（埼玉県）も参加し、道路寸断や孤立集落の発生、離島対応などを想定した部隊展開や各機関との連携強化に努めた。静岡地本は、今後も国民を守るべく県や自治体、部隊と連携し、災害に備えていく。



県災害対策本部



中部地域局

## 大学の合同企業研究セミナーで自衛隊の魅力をPR

自衛隊静岡地方協力本部三島募集案内所（所長・林正士1等陸尉）は2月5日（水）、日本大学国際関係学部（三島市）で開催された令和6年度学内合同企業研究セミナーに参加した。

このセミナーは、学生が企業や団体の人事・採用担当者との面談を体験することで、業界や企業への理解を深め、今後の就職活動に生かすことを目的に開催されているもの。当日は自衛隊を含む26の企業・団体ブースに、同大学の1、2、3年生約230人が訪れた。

1回40分の説明を5回行い、自衛隊ブースには合わせて23人が訪れた。静岡地本募集課募集班長の倉重長門3等海佐が、自分の経歴を基にグローバルな活動の場や多様なキャリアパスがあること、女性自衛官の活躍、幹部自衛官の魅力ややりがい発信し、自衛隊の任務や災害派遣、国際貢献等の活動について具体的に紹介した。また、東部方面総監部人事課募集班長が4人の若手事務官（総合職）とともに会場を訪れ、質疑応答の時間に学生たちと懇談し、防衛省職員としての魅力を伝えた。

ブースを訪れた学生からは「細部まで話を聞くことができ満足した」「職業選択肢の一つとして検討したい」といった感想が寄せられたほか、受験希望者から「もっと詳しく教えてほしい」との声も聞かれた。

三島所は、今後も大学まで約50メートルという地の利を生かし、大学と連携して学生のキャリア支援を行うとともに、自衛隊の認知度向上と魅力の発信に努めていく。



倉重3佐による説明



自衛隊ブースを訪れた学生